



小牧幼稚園 園だより 第351号 2019年11月  
教育目標「神を敬い 人を愛し 平和を作り出す子どもを」  
年主題「ことばに満たされて～ひびきあう～」  
年聖句「その人は流れのほとりに植えられた木。」

### 詩編1篇3節

秋の行事は私も子どもたちと共に、楽しく過ごしております。幼稚園ではたくさん秋を感じることがあります。夏のセミがトンボに代わり、夏、子どもたちを直射日光から守ってくれた、園だよりの名前になっている「櫻」の葉が、緑から茶色(紅葉?)に、桜の木の葉が無くなり、桜の木に登る子どもの姿がよく見えるようになりました。でも、私が一番感じることは、帰宅するときのお月様の綺麗な事。ちょっと前までは明るいうちに帰ることができたのに、今は夜道を帰ります。「秋の日は、釣瓶落とし」の言葉を毎日思いながら帰ります。今は時代劇でしか見ることができない「釣瓶」ですが、水を汲むため、竿や縄の先につけ井戸の中に降ろす桶のことで、その釣瓶が、井戸に落ちる様子が、秋の日が一気に暮れることを表しています。暑かった今年、短い秋が終わり、今日は寒いと感じながらも「冬」だ、と思いながら帰るこの頃です。

幼稚園では冬の準備をしています。小牧幼稚園で、冬の準備と言えば、クリスマス会の準備です。聖劇や劇遊びの練習は、バザー前から始まっています。クリスマスを待つ時をキリスト教の教会暦では「降誕節」と云い、今年は12月1日からになります。降誕節をラテン語では「アドベント(到来)」と言われ各保育室ではアドベントカレンダーを飾り、毎日クリスマスまでを楽しみに待ちます。12月1日から24日まで日付が扉になり一つずつ開いたり、ポケットがあったりして、小さなお人形が移動したりして、子どもはクリスマスが近づくのを心待ちにします。アドベントには、ろうそくを4本用意し、第一主日(12月1日の日曜礼拝)に1本目のろうそくに火をともし、その後、第二、第三、第四と週を追うごとに火をともしろうそくを増やしていきます。幼稚園では、第四のろうそくを、12月19日のクリスマス会の日にともします。この習慣は、詳説ありますが、ドイツ、ハンブルクにある子どもたちの施設「ラウエス・ハウス」(粗末な家)で初めて行われました。当時は、クリスマスまで、毎日1本ずつろうそくを灯したと言われ、1860年以後は、ベルリン・テーゲルの孤児院にも広められたと、伝わっています。淋しい子どもたちの唯一のクリスマスまでの楽しみだったと思われます。その頃、サンタさんはいたのでしょうか? また、この数年ケーキ屋さんなどで「シュトレン」を買われたり、見られたりすることがありますが、ドイツでは主日ごとにシュトレンを薄く切り食べて祝います。この形は砂糖でおおわれて外見は、幼子イエスが白い布でくるまれたことに由来すると言われます。

小牧幼稚園の普段の生活は、子どもたちが自ら遊びを展開する保育ですが、クリスマス会の「聖劇」「劇遊び」に限っては、保育者主導のように見えます。しかし、運動会の紅白リレーのように来年は私たちがやるんだと憧れのように見えた「聖劇」を今年は、この役は私、この役は僕がと、待ち臨んだ時であります。勿論、配役には子ども心に少なからず不満もあったことですが、今年の流行

語でいえば「ワン・チーム」みんないて、聖劇が成り立ちます。練習ごとに子どもの中にも、理解されていきます。どんな場面においても、子どもたちの3年間の育ちの中で、常に能動的に前向きに関わる力が育っていると感じる時です。

それぞれのクラスでは「劇遊び」が進んでいます。今年はどんなクリスマスになるか楽しみです。あ！そうそう、サンタさんから19日にプレゼントを届けるよと、お手紙を貰っています。今年はどんなプレゼントかな？

#### 12月の給食メニュー

- 12月 3日(火) クロワッサン 鶏のから揚げ 果物
- 5日(木) カレーピラフ 果物
- 6日(金) 麻婆豆腐ご飯 果物
- 10日(火) デニシュパン ソーセージ 果物
- 12日(木) おいも赤飯 けんちん汁 果物  
(みどり組が掘ってきたお芋を使います)
- 13日(金) ポークビーンズ 果物
- 17日(火) クロワッサン 手作りコロケ 果物
- 19日(木) クリスマス会
- 20日(金) 味噌煮込みうどん 果物

1月9日(木)より、3学期が始まりますが、平常保育で給食もあります。

\*食材により変更もあります。

☆バザーへのご協力ありがとうございました、天気にも恵まれ、大勢の方が来園されました。感謝です。会計報告等は後日報告しますが、11月1日に来園された、PHD協会には、前もって当日献金させて頂きました。お礼状・領収書も頂いております。当日は3名の研修生が来園予定でしたが、長い研修旅行中2名の研修生が体調不良のため、途中で神戸に帰られ、ネパールからの「スシラ・バザル・サルキ」さん一人でした。そのため、例年ですと、3・4名が交替で自己紹介や国の生活を紹介してくれるのですが、今年はスシラさんの独壇場でした。4月に来日し2ヶ月ほど日本語を勉強しただけですが、しゃべる、しゃべる、22歳で、カースト制度の最下層であるダリット（不可触民）出身で、今なおいわれなき差別を受けている。5年前に結婚し、4歳の子ども家族を残し来日しています。話は暗い内容ですが、本人の明るさに救われました。帰国後は、日本で学んだことを生かし農薬をあまり使わない「果樹園」作りや、女性の社会進出や識字率の向上に取り組むたいと語られました。

☆先日、小牧私幼主催の「子育てフォーラム」が行われましたが、大勢の参加ご苦労様でした。当日、霜田美津子先生が、たくさんの絵本を紹介されました。園にも職員室前に紹介された絵本がありますので、自由にご利用ください。特に霜田先生が大好きで読みながら涙が出てきたと、言われた「サンタクロースってほんとうにいるの？」もあります。

今後の予定

- 12月17日(火) この日まで牛乳あり
- 18日(水) 半日保育
- 19日(木) クリスマス会 小牧勤労センター
- 23日(月) 2学期終了
- 24・25・26・27日預かり保育 2号認定の園児対象
- 1月 4日(土) お餅つき
- 9日(木) 3学期開始 平常保育